

# 自然教室だより

辻本 信一

## 9月・矢田丘陵自然観察会報告

昨年は、予備日を設けていなかったため、この時期予定されていた矢田丘陵での自然観察会は雨で中止となりました。

今回はそれを残念に思われた御宮知講師からの申し出もあり予備日を設けたのがズバリ的中、当初予定していた9月20日(火)は台風により流れましたが、翌日の9月21日(水)には雨も上がり、無事観察会を開催する事が出来ました。

観察会当日は台風一過とは言え終日曇り空のおかげで暑い日差しに悩まされる事もなく絶好の観察日和となりました。



【観察会出発前、朝のご挨拶】

しかしながら、予定変更による影響は大きく、参加者は講師の先生を含めても6名とごちんまりとした観察会となりました。確かに大勢でワイワイガヤガヤの観察会も楽しいものですが、少数精鋭での観察会は集中力も高まり、我々だけで講師の御宮知先生を独り占めできる幸運を得た事に、皆さん大満足のご様子でした。

普段なら遠慮しがちな質問も、躊躇なく次々と飛び出します。これまでのおさらいとばかり、目につく植物すべてを、絨毯爆撃するが如くみんな質問攻め。スタートから熱気のみなぎる観察会となりました。

今回の時間設定は午前9時開始のサマータイム。

棚田のそこかしこでは、秋の到来を告げる楚々とした立ち姿のヒガンバナ。



【棚田に咲くヒガンバナ】

矢田丘陵に広がる田園風景に心も弾みます。

簡単な野草でも、ホウキギクの様にウツカリ名前を忘れていた様なものも多く、頭の中の整理も出来ました。



地面に張り付いたようなコニシキシソウに対し、立ち姿のオオニシキシソウ。タカサブロウとアメリカカタカサブロ

【メモを片手に説明を聞く参加者】ウの違いは両者を手に取りじっくりと見比べ、花の大きさの違いを実感しました。

昼食を挟み、午後3時までしっかりと観察を行い、その成果は120種近くにも上りました。

それぞれの説明は、紙面の関係で割愛しますが、以下に観察会当日出会った代表的な植物の名前を列記致します。

イボクサ、アメリカミズキンバイ(ヒレタゴボウ)、コニシキシソウ、ツルマメ、ヤブマメ、センニンソウ、ホウキギク、ミチヤナギ、サワヒヨドリ、キンエノコロ、クサネム、ノアズキ、ツリガネニンジン、



【ひときわ目を引くタラの花】イヌビエ、ケイヌビエ、エノキグサ、クワクサ、カゼクサ、アキノタムラソウ、ヒメジソ、メドハギ、ネコハギ、カニクサ、フタバムグラ、ザクロソウ、アゼトウガラシ、ミゾカクシ、ウリクサ等々、まだまだ続きますが、これくらいに致します。

毎度のことながら、参加者一同、御宮知講師の博識ぶりには驚かされてしまいました。

参加者の皆さんの感想も、時に慎ましく、健気に咲く、秋の野草を観察する事ができ、大満足とのご意見が大勢を占めました。次回は是非皆様もご参加ください。お待ちしております。